

「多摩30市町村 第一回下水道情報交換会」のデモ施工に参加

去る平成24年10月11日、パルテム技術協会関東支部では東京都下水道局流域下水道本部と多摩30市町村自治体の技術系、事務系職員向けに開催された「多摩30市町村第一回下水道情報交換会」のプログラムでデモ施工の実演を実施いたしました。



名称 多摩30市町村 第一回下水道情報交換会
日時 平成24年10月11日
主催 多摩30市町村 流域下水道本部 共催 東京都新都市建設公社
場所 東京都下水道局 北多摩2号水再生センター
出席 東京都流域下水道本部と多摩30市町村の技術系、事務系職員
人数 座学 約150名 実演デモ見学 約150名



当会では、主催者殿よりの協力要請を受けていた(一社)日本管路更生工法品質確保協会(：品確協、本会は特別会員)協会員としてデモ施工に参加いたしました。

デモ施工は、東京都下水道局殿に認定されている管渠更生工法の内、製管3工法、穿孔技術2工法、非破壊検査技術2工法、既設管残存強度評価技術1工法、反転・形成工法5工法で実演を行い説明員による施工手順、詳しい内容について実演しながら説明いたしました。

なお、当会は製管工法であるパルテム・フローリング工法とパルテムSZ工法の穿孔技術について実演を行いました。パルテム・フローリング工法の実演は、製管作業が外側から目視できる既設管モデル(馬蹄形 2000mm)に製管作業を実際に行いながら他の製管工法にはないフローリング工法のメリットを説明できました。パルテムSZ工法における穿孔技術の実演は、新たに制定された日本下水道協会発刊の「管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン(案)」では、取付管部の穿孔の品質確保について細かく記載されており、今後の機械穿孔における施工管理、品質管理についてご発注ご担当者様にわかりやすく説明できたと感じております。これらの活動を通じ、管更生全体の信頼を高めるとともに、パルテム工法の優れた特長を直接、ご発注ご担当者様にお伝えするよい機会となりました。これからも地域の当会会員のニーズに合わせた形で工法普及活動を続けてまいります。ぜひ、地域での工法説明及び実演のご依頼などがございましたら協会事務局までご一報をよろしくお願いいたします。

最後に当日、当工法の実演説明にご来場いただきました方々に、感謝申し上げます。

